

今年も点字ブロック並びに線路転落防止キャンペーンを行いました。

10月19日（木）、イオンタウン津城山ショッピングセンターにて、視覚障がい者が街で安全に歩けるように誘導する「点字ブロック」の役割を知ってもらうための啓発キャンペーンを行いました。

この取り組みは昨年度に引き続き今年で3回目になります。今年は、昨年より多くのPTA会員と児童・生徒の有志（保護者13名、児童生徒10名、教職員7名の計30名）が参加し、啓発用に作成したポスターを持って、ポケットティッシュを配布し、活発に点字ブロックの重要性を訴えました。



雨の日で足元の悪い中、お客様が少ないことを心配しましたが、予想以上にたくさんの方に呼びかけを聞いていただき、ティッシュやチラシも受け取っていただくことができ、ティッシュは最終的に700個ほど、配布できました。

今年も、このキャンペーン直前の10月1日に大阪で視覚障がい者の男性がホームから転落されて命を落とされました。このような不幸な事故が起こらないよう、点字ブロックの意味を皆が正しく理解し、状況に応じて周囲が声をかけるなどの支援があたりまえに行われる社会になってほしいと思います。